

あのカントに再び挑んでみよう、

——人としての迷い、ためらいを味わい尽くす、第二弾、完結篇。

てっぺいにカント

その二 「純粹理性」の舞台裏

中島義道

2024年7月25日刊行予定 四六判・並製 256頁 本体定価2600円 ISBN978-4-910154-57-2 C0010



そうか、こう読めば、あのカントが、こんなふうによみがえる——読んでみる、裏から表から、右から左から、そこに変わることはない、発見のきっかけがあるからこそ、それは思考作品の古典なのだ。読者とともに行きつ戻りつ、文に編みこまれた思考の息づかいに耳を澄ます。いまを生きる、私たちの足もとを照らす探照灯の誕生秘話。中島＝カントの静かな挑戦、完結篇。

【既刊】 てっぺいにカント その一 コペルニクスの転回の全貌 5月刊

【姉妹篇・既刊】 てっぺいにキルケゴール その一～その三 『絶望ってなんだ』『私が私であることの深淵に』『本気がつまずくということ』（ぷねうま舎）

中島義道（なかじま・よしみち）

1946年生まれ。東京大学法学部卒。同大学院人文科学研究科修士課程修了。ウィーン大学基礎総合学部修了（哲学博士）。電気通信大学教授を経て、現在は哲学塾主宰。著書に、『カントの時間構成の理論』（理想社、のち改題『カントの時間論』講談社学術文庫）、『モラリストとしてのカント1』（北樹出版、のち改題『カントの人間学』講談社現代新書）、『カントの自我論』（日本評論社、のち岩波現代文庫）、『悪について』（岩波新書）、『悪への自由——カント倫理学の深層文法』（勁草書房、のち改題『カントの「悪」論』講談社学術文庫）、『生き生きした過去——大森荘蔵の時間論 その批判的解説』（河出書房新社）、『不在の哲学』（ちくま学芸文庫）、『時間と死——不在と無のあいだで』（ぷねうま舎）ほか。

目次

第六章 ア・プリアリな総合的判断とは

第七章 数学・物理学という総合的判断

第八章 形而上学のために

終章 「超越論的」の秘密

締め切り 7月10日

Fax. 03-5228-5843

ぷ
ね
う
ま
舎

てっぺいにカント

その二 「純粹理性」の舞台裏

46判・256頁 本体定価2600円

ISBN978-4-910154-57-2 C0010

貴店印

冊

新刊委託